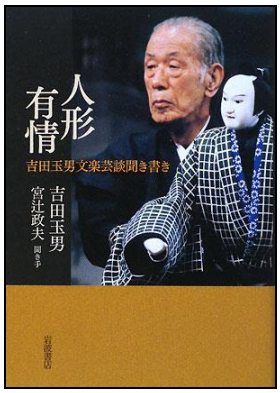
月刊 あなたにこの本を！ 平成 21 年 7 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

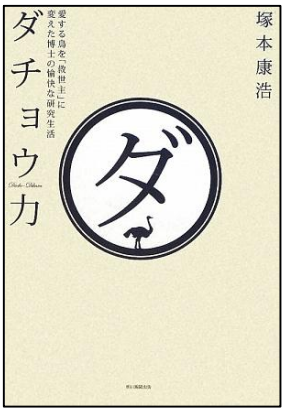


人形有情 －吉田玉男文楽芸談聞き書き－

吉田玉男　著　宮辻政夫　聞き手
岩波書店　3150 円　(0011780196)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

吉田玉男は、人間国宝に認定された文楽人形遣いの名人だ。2002 年に惜しくも逝去した彼から、14 年にわたって聞き取った談話を集めたのが本書である。先輩や仲間の芸と思い出話、役や演目への解釈とこだわりなど、かざらない大阪弁で語られる内容は実に豊かだ。受け答えの様子なども描かれ、伝統の型を継承しつつも変革をいとわず、最後まで芸を磨き続けた名人の人となりが浮かびあがる。用語や演目の解説もあり、文楽の知識も深められる。〔777.1〕



ダチョウ力(ぢから)
－愛する鳥を「救世主」に変えた博士の愉快な研究生活－

塚本康浩　著
朝日新聞出版　1365 円　(0011829908)

ジャンル ： 知識・教養を深める

著者は、鳥類が専門の獣医学博士。ダチョウ牧場の主治医として観察と研究を続け、ダチョウの免疫力の高さを証明した。その卵から抗体を生産し、鳥インフルエンザの感染防止に効果があるというマスクを開発する。本書は、著者とその愛弟子たちが、食品やガン治療への応用など、ダチョウ抗体の様々な可能性を発見していく過程をユーモアあふれる文章でつづる。新型ウイルスが出現するたびに脅威にさらされる昨今、ぜひ一読をすすめたい。〔646〕

我、食に本気なり

ねじめ正一　著
小学館　1680 円　(0011794850)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

食通の作家が、思い入れのある食べ物と、それにまつわる懐かしい思い出を、各章ごとに紹介する。「柿の種」の章では、辛党の父親とかわした、たわいもないやりとりが語られる。また、「アイスクリーム」の話には祖母と通ったデパートの思い出がつまっている。それぞれの食べものにほんわかとした挿絵が添えられ、実に美味しそうだ。淡々としながらもあたたかみのある文章で、素朴な食のひとつひとつが味わい深い物語となってつづられる。〔596.04〕

16 才のための暮らしワークブック
ー生きていくのにかかるお金は月いくら？ー

工藤 啓 著
主婦の友社 1365 円 (0011824309)

ジャンル ： 子どもの成長のために

16 才は働くことが社会的に認められる年齢だ。この年代に向け、ニートやフリーターの支援にかかわる著者が、お金とのつきあい方やいろいろな立場での働き方についてやさしく説明する。お金の持つ「使う・稼ぐ・貯める」機能を解説するほか、正社員や派遣社員等の実態や納税の意義といった様々な話題が盛り込まれ、おとなが読んでも興味深い。若者たちにお金や労働の正しい知識を持って自立した生活をして欲しい、という著者の熱い思いが感じられる。〔379.9〕

脱ニッポン人生 ー自分の居場所の見つけ方ー

大倉 直 著
草思社 1365円 (0011814866)

ジャンル ：生き方・考え方に学ぶ

世界を旅し、評伝や紀行を執筆する著者は、様々な事情で母国を飛び出し異国の地で暮らす人たちと出会ってきた。本書では、十年以上を経て再訪した彼らの現状と思いがつづられる。高校を中退しプロレスラーになるためメキシコへ渡った少女、新聞記者になる夢に破れて出かけた中国に魅せられ移り住んだ青年など、一人ひとりの人生観が素直に語られ興味深い。いい学校を出ていい仕事につくことを目指す生き方に疑問を感じる著者の思いも伝わってくる。〔334.5〕

忙しいパパでもできる!子育てなんとかなるブック

石阪丈一 著
ナナ・コーポレート・コミュニケーション 1260 円 (0011798747)

ジャンル ： 子どもの成長のために

町田市長である著者が、若い世代の父親に向けて、自身の経験を振り返り、忙しい中でどのように子育てをしてきたかを書いた。「家族そろって食卓を囲む“食事門限”をつくろう」「どんどん父子で外に出よう」など、24 のアドバイスを紹介。積極的に子育てをしてきた著者ならではのコツを、分かりやすい文章で解説。項目ごとにそえられた4コマ漫画は、楽しい雰囲気をつくりだしている。アドバイスは身近な内容で、実践しやすい。〔599〕

それでも、世界一うまい米を作る ー危機に備える「俺たちの食糧安保」ー

奥野修司 著
講談社 1890円 (0011835760)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

食の問題に関心をもった著者は、単なる有機農業で満足せず「うまい米」をめざしていた伊藤俊彦氏を知り、5年以上にわたり取材を重ねた。農協による販売が当然だった時代に独自ブランド米で問屋に売り込む等、ユニークな活動を追い農業の現場に迫る。時代を先取りして挑戦し続ける若き生産者の姿は頼もしい。また、中国へも取材は広がり、世界の農業・食糧事情といった問題もよくわかる。消費者にも食の問題の責任はあるとの主張に考えさせられる。〔611.6〕

こうして特許製品は誕生した!

ベン・イケンソン 著
二見書房 1680円 (0011837667)

ジャンル ： 知識・教養を深める

料理中に小さな火傷を繰り返す新妻のために作った「バンソウコウ」。レジ待ちのイライラから生まれた「バーコード」。本書ではこれらアメリカの代表的な発明品について、誕生当時の様子を伝える写真を数多く交え、開発から特許取得までのエピソードや設計図等を紹介する。アイデア実現に向けた試行錯誤の跡のある特許出願書や設計図からは、発明家たちの努力や熱意が生き生きと伝わってくる。暮らしをより豊かにという彼らの心意気に共感を覚える。〔507.23〕